

# SHOW MEY シネマルーム

★★★

## レジェンド・オブ・フィスト 怒りの鉄拳 (精武風雲・陳真)

2010年・中国映画  
配給/ツイン・105分

2011 (平成23) 年7月27日鑑賞

GAGA試写室

### Data

監督: 劉偉強 (アンドリュー・ラウ)  
出演: 甄子丹 (ドニー・イェン) /  
舒淇 (スー・チー) / 黄秋生  
(アンソニー・ウォン) / 黄  
渤 (ホアン・ポー) / 余文樂  
(ショーン・ユウ) / 木幡竜  
/ 倉田保昭 / AKIRA (E  
XILE) / 霍思燕 (フォ  
ー・スーイェン) / 周揚 (チヨ  
ウ・ヤン)

## 👁️👁️ みどころ

甄子丹 (ドニー・イェン) がマーシャル・アーツの伝説のヒーロー陳真 (チェン・ジェン) に扮して、1925年の反日・抗日運動が高まる上海で大活躍!

前半の美人歌手キキ (スー・チー) とのデレデレした姿にはあまり共感できないし、「仮面の戦士」もかなりマンガ的! さらに日本軍の力石大佐も権力の横暴とカッコづけばかり? 最近これほど反日色の強い映画を観たことないが、さてあなたはハイライトの「武闘家」対決をいかに?

— \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \*

## ■□■伝説のヒーロー、陳真とは?■□■

東洋の魔都「上海」を舞台としたスパイ映画は、8月20日に公開される渡辺謙も出演する『シャンハイ』(10年)をはじめとして数多いが、本作もある意味ではその1つ。もっとも、本作はあくまでその邦題からわかるとおり、甄子丹 (ドニー・イェン) が伝説のヒーロー陳真 (チェン・ジェン) 役で主演するカンフーアクション映画。つまり、スパイ映画の要素は時代背景としての必然性はある



『レジェンド・オブ・フィスト/怒りの鉄拳』DVD 発売元: ツイン  
DVD 販売元: パラマウント ジャパン 発売日: 2012年04月13日レンタル開始(レンタル中) © 2010 Media Asia Films (BVI) Ltd. Beijing  
Enlight Pictures Ltd. All Rights Reserved

ものの、あくまでチェン・ジェンのアクションを引き立てるための要素？

また、1920年代後半から1940年代当初の上海を舞台とした映画で日本軍が「日本鬼子」として描かれるのは仕方ないが、反日、抗日色をここまで徹底させたカンフーアクション映画は珍しいのでは？ドニー・イエンが演ずるチェン・ジェンは、故ブルース・リーが『ドラゴン怒りの鉄拳』（精武門）（71年）で演じた架空のマーシャル・アーツのヒーロー陳真のことだが、さて本作では彼はどんな役割を？

## ■□■この変身ぶりには違和感が・・・■□■



『レジェンド・オブ・フィスト/怒りの鉄拳』  
DVD 発売元：ツイン DVD 販売元：パラマウント ジャパン  
発売日：2012年04月13日レンタル開始(レンタル中)  
© 2010 Media Asia Films (BVI) Ltd. Beijing Enlight Pictures Ltd. All Rights Reserved

中国人（労働者）が第1次世界大戦のヨーロッパ戦線でどんな役割を果たしたのか、あなたは知ってる？私は本作を観てはじめてそれを知ったが、チェン・ジェンのカンフーが、銃を持つドイツ兵に対してこれほど有効だったとは！そんな1917年当時の冒頭のシーンが終わると、時代と舞台は一転して1925年の上海。今チェン・ジェンがピアノ奏者として働いているのは、各国の有力者やスパイたちが暗躍する、リウ・ユティエン（アンソニー・ウォン）が経営するナイトクラブ「カサブランカ」だ。しかして、このピアノ奏者が、実は亡きチャー・ティエンユアンに化けた反日・抗日組織の幹部というからややこしい。

本作前半では、なぜかひどくリウに気に入られたチェン・ジェンが、急速に親しくなった「カサブランカ」の人気歌手キキ（スー・チー）とデレデレする姿(?)をみせつけたり、逆にチェン・ジェンが「仮面の戦士」としてマンガみたいな格

好で大活躍する姿が描かれるが、私の目にはこの変身ぶりにはかなり違和感が……。さらに、日本軍のリーダーである力石大佐（木幡竜）に捕らえられ、過酷な拷問を加えられているチェン・ジェンが、ホアン警部（ホアン・ポー）らの機転(?)によって救われたうえ、日本軍の総司令部が爆破されるシーンを観ていると、そんなバカな！と思わざるをえない。

## ■□■日本軍人は、権力の横暴とカッコづけだけ？■□■

本作中盤のポイントは、日本軍による反日中国人処刑者リスト。こんなものを新聞で発表すれば上海全体が大混乱に陥るうえ、「カサブランカ」も「商売あがったり」になるのは当然なのに。なぜ、力石大佐はそれに踏み切ったの？反日の闘士＝正義の味方然とした「仮面の戦士」の登場によって事態がよりややこしくなっていく中、力石大佐とその配下の佐々木(AKIRA)たちはリストに載った処刑者をいかなる手段で次々と処刑に？そもそも、現地日本軍の最高責任者たる力石大佐が、チェン・ジェンとの武闘対決で非業の死を遂げた武闘家・力石剛(倉田保昭)の息子で、今は虹口(ホンコウ)道場の道場主を兼ねているという設定からして少しおかしが、力石大佐のやることは一方で権力の横暴が過ぎるし、他方ではカッコづけばかり？反日の中国人たちに対する処置はもちろん、任務に失敗した部下たちを容赦なく抹殺する姿をみたり、道場で1人技を磨いている姿をみると、そう思わざるをえない。



『レジェンド・オブ・フィスト/怒りの鉄拳』 DVD発売元：ツイン DVD販売元：パラマウント ジャパン  
発売日：2012年04月13日レンタル開始(レンタル中)  
© 2010 Media Asia Films (BVI) Ltd. Beijing Enlight Pictures Ltd. All Rights Reserved

その極みは、精武門の教えを再確認したうえでチェン・ジェンが白い詰襟に身を包んで1人虹口道場に入り込み、力石大佐と決着をつけるシーン。かの宮本武蔵だって、吉岡清十郎と吉岡伝七郎を既に決闘で破り、最後に京都の一条寺下り松で17歳の吉岡源次郎を名目人として吉岡源次郎と彼が率いる吉岡道場の多数の門弟たちと「対決」するについては、一対一の斬り合いに持っていくべく走り回ったが、虹口道場では多くの門弟に取り囲まれる中、チェン・ジェンは1人でいかに武闘家としての力を発揮するの？トニー・ジャーが主演した『マッハ!』(03年)、『シネマルーム6』194頁参照)や『マッハ! 弐』(08年)、『シネマルーム24』194頁参照)、さらに『チョコレート・ファイター』(08年)、『シネマルーム22』173頁参照)では「こんなのありえねー」というシーンがきわめて興味深かったが、本作に観る「こんなのありえねー」のシーンは、いくらチェン・ジェンの武勇伝とはいえ、あまりにもマンガ的に過ぎるのでは？

2011(平成23)年7月28日記